

岡山県社保協は10月27日から10月30日まで、県下の26市町村を訪問して(一部、コロナの影響で文書回答)当局と交渉する「社会保障の充実を求める全県キャラバン」に取り組みました。

今回のキャラバンの要請内容は、①新型コロナウイルス感染症対策について、②国民健康保険について、③介護保険について、④第8次岡山県保健医療計画について、でした。

赤字補填のための法定外繰入れは軒並み廃止

「医療・介護事業所に対し前年実績比の減収分の財政支援を行う

県社保協ニュース

発行:岡山県社保協 2020年 11月 30日 (20-03号) 岡山市北区下伊福西町1-53 (TEL: 086-255-1140)

よう国に要請してください」との要請に対しては、概ねどの市町村も「全国市長会(町村会)等通じて要請したい」との回答でした。「(国保)被保険者等の所得に占める保険料(税)の負担率を被用者保険並みにし、医療保険制度間の公平性を確保してください」との要請に対しては、「要請の趣旨は理解できるが、市町村独自の努力には限界がある」「決算補填等目的の一般会計からの法定外繰入れは、国・

県から実施することのないように指導されている」との回答でした。国保特別会計への定率国庫負担を増やし、「県国保運営方針」に記述の決算補填等目的の法定外一般会計繰入の削減・解消方針を改める必要があります。早島町より、今年4月から子ども均等割の減額を開始したとの報告がありました。第8期の介護保険料についてはどの市町村も「算定中」との回答でした。県社保協は、「保険料の額は第1号被保険者の負担能力の



＝玉野市での懇談の様子(10/27)

自助「押し付ける管内閣

高齢者の医療費負担2割案

厚労省は、11月19日、75歳以上の高齢者の医療費負担を最大で605万人を対象に現行の1割負担から2割負担に引き上げる改悪案(複数案)を提示しました。また、紹介状なしの大病院を受診した患者に窓口負担とは別に徴収する金額を現行の5千円から7千円に引き上げる案も盛り込んでいます。

国民に「自助＝自己責任」を押し付ける管内閣の姿勢が具体的に表れています。

限界を超えている。「介護給付費準備基金」など活用して抑制してほしい」と重ねて要請しました。

「第8次岡山県保健医療計画」見直しの要請を

「第8次岡山県保健医療計画」について県社保協は「『計画』は、新型コロナウイルス感染症や今後発生し得る新型感染症をふまえて策定されていない。『計画』の一部をなす『岡山県医師確保計画』も『第8次岡山県看護職員需給推計』も、『地域医療構想』を前提に策定されている。見直しを強く要請してほしい」と重ねて要請しました。